

生誕110年

放浪記

続放浪記

十年間 骨

清貧の書 面影

旅だより 牡蠣

野麦の唄

女の日記

田舎がえり

女の位置

浮雲 晚菊

風琴と魚の町

巴里の日記

北岸部隊 夢一夜

めし うず潮

協働企画

北九州市立文学館 かごしま近代文学館 新宿歴史博物館

開催期間 平成25年 6月22日(土)～7月21日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(7月15日(月・祝)は開館、翌日は開館)

観覧料 大人／700円、高大生／500円、中学生以下無料
(前売は各200円引、団体(20名以上)は各100円引)



風も吹くなり 雲も光るなり

うき草

風琴と魚の町

蒼馬をみたり

女の復活

啓吉の学校

牛肉

川歌

冬の林檎

茶色の眼

旅館のバイブル

お父さん

狐物語

人間世界 暗い花

第二の結婚 漣波

淪落

浮雲 晚菊

田舎がえり

女の位置

協働企画

北九州市立文学館 かごしま近代文学館 新宿歴史博物館

はやし ふみこ

林 芙美子展

林 芙美子 展

はやし あみこ

展

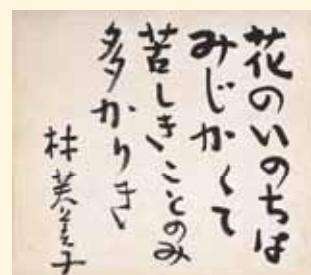


林芙美子は、一九三〇（昭和5）年、『放浪記』がベストセラーとなり作家としての道を歩み始めます。単身で中國やパリなどへ渡り、戦時中は従軍作家として中國や南方にも赴きました。戦後は戦争によって運命を翻弄された市井の人々に寄り添い、終生、庶民を描き続けた作家でした。

本企画展では、遺された原稿・草稿、書簡、遺愛品、雑誌・書籍、写真などで、その生涯と作品を紹介しつつ、大正から昭和の激動期にかけての時代の記憶を新たにし、現代へのメッセージを浮かび上がらせます。

花のいのちはみじかくて
苦しきことのみ多かれど
風も吹くなり 雲も光るなり

自宅書斎にて (撮影:林忠彦 ©林忠彦作品研究室代表林義勝)



書「花のいのちはみじかくて
苦しきことのみ多かりき」
生前、色紙などを求められると、この詩
を好んで書いていた。

風も吹くなり
雲も光るなり



「放浪記」「続放浪記」(改造社 1930.7.11)
改造社が刊行した「新鋭文学叢書」の一冊として出版され、ベストセラーとなった。



詩稿「風も吹くなり 雲も光るなり…」
「花のいのちはみじかくて…」の原典といわれる。「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子の書斎に飾られていたもの。

雨もあるなり



「浮雲」(六興出版社 1951.4)
晩年の集大成ともいいくべき作品。南方派遣時の体験が色濃く反映される。



ONOMICHI
CITY MUSEUM
OF ART

イベント

【講演会】

①今川英子さん(北九州市立文学館長・企画展総合監修)

日時: 6月22日(土) 10:30~11:30

②久保卓哉さん(福山大学名誉教授)

日時: 7月7日(日) 13:30~15:00

会場: 尾道市立美術館

対象: 一般・参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

【林芙美子生誕110年記念フォーラム ～林芙美子の文学と尾道～】

日時: 6月29日(土) 13:30~16:30

会場: 尾道商業会議所記念館

ライブ中継会場: おのみち街かど文化館(80名)、市立美術館(60名程度)

定員: 40名(要予約)

参加: 無料。美術館は展覧会観覧料が必要です。

申込: 6月3日午前10時から文化振興課(0848-25-7366)で受け付けています。

◇パネルディスカッション

川本三郎さん(評論家) × 太田治子さん(作家) × 今川英子さん(北九州市立文学館長)

コーディネーター 毛利和雄さん(ジャーナリスト)

◇朗読・進行

青木裕子さん(元NHKアナウンサー)

【わいわいがやがや おしゃべり鑑賞会】

こどもたちを対象にした鑑賞会です。鑑賞資料などをもとに、楽しくおしゃべりしながら鑑賞します。

日時: 7月14日(日) 14:00~15:00

会場: 尾道市立美術館

対象: 中学生以下。参加無料・申込み不要。付添いの方1名は無料で入館できます。

【ギャラリートーク】

市立美術館学芸員が鑑賞ポイントの解説をします。

日時: 7月21日(日) 14:00~15:00

会場: 尾道市立美術館

対象: 一般・参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

関連イベント

【第28回 芙美子ウィーク】

◇「林芙美子特別展示」

生原稿、関連書簡、遺品等の展示をします。

日時: 5月24日(金)~7月1日(月) 9:00~18:00

会場: 文学記念館

入館料: 一般 300円

◇「林芙美子と尾道文芸講演会」

図書展示をします。

日時: 6月1日(土)~30日(日) 10:00~19:00

月曜日休館

会場: 市立中央図書館

◇「林芙美子の作品を読む」

しまなみ朗読会(わざな草)による朗読会をします。

期日: 6月29日(土)

会場及び時間:

市民センターむかいしま 10:30~11:45

市立中央図書館 14:00~15:15

参加: 無料

◇あじさい

林芙美子の命日にちなみ、在りし日の芙美子を偲びます。

日時: 6月23日(日) 11:00~12:30

場所: 一番街商店街・芙美子像前ほか

参加: 無料

【文学散歩「芙美子が暮らした尾道】

シリバーアイ・人材センターガイド班と一緒に、芙美子ゆかりのポイントを巡る町歩きをします。

期日: 6月23日(日)、30日(日)

7月7日(日)、14日(日)、21日(日)

時間: 午前の部 10:00~12:00

午後の部 13:30~15:30

集合場所: JR尾道駅前

定員: 20名(要予約)

参加: 500円/人

申込: シリバーアイ・人材センターガイド班(Tel: 0848-20-7700)

文学記念室 0848-22-4102)まで。

締切: 実施日前の火曜日まで

【尾道本通り一番街商店街】

◇県立尾道東高等学校生徒作品展示(6月末定・街かど文化館)

◇煎茶道三発亭賣茶流お茶会(6月30日・芙美子記念館)

◇林芙美子資料個人所蔵品展&講演会(7月末定・街かど文化館・商業会議所記念館)

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内

Tel: 0848-23-2281 Fax: 0848-20-1682

<http://www7.city.onomichi.hiroshima.jp/>

ご利用案内

●JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス

(①番のりばで「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで、「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。) なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないご注意ください。

●お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用いただきましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。

●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。